

事業計画書

事業名	松戸市サイクルツーリズムプランの検討事業
団体名	都市環境デザイン学研究室 サイクルツーリズム研究会

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	<p>近年、健康志向や環境意識の高まりを背景に、サイクルツーリズムが全国的に広まっている。千葉県でも、県公式物産サイトに「千葉県サイクルツーリズム」のページを設け、エリアや難易度に分けて11のコースを設定・紹介している。千葉県は高低差の少ない地理的条件、冬でも暖かい温暖な気候から年間を通してサイクルツーリズムを楽しむことができる。</p> <p>松戸市には、葛飾大橋から関宿にかけて、県道・江戸川左岸自転車道路が整備されている。また、対岸の埼玉・東京には江戸川沿いの自転車道路が江戸川区方面まで整備されている。更に、平成29年に開通する外郭環状自動車道路には、全線自転車レーンが設置されることから、松戸市内へ自転車でアクセスするための条件が整いつつある。しかし、松戸市内の自転車利用環境は、自転車道ネットワークの不備、利用者の視点が十分に反映されていないという問題がある。</p> <p>そこで、松戸市と周辺の広域自転車ネットワーク形成を念頭に、その現状と課題を整理し、ツーリズムプランの検討を行う。</p>
事業の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 来訪者、松戸市民が共に自転車のレジャー・スポーツ利用を楽しむことができる広域自転車道のネットワーク形成 2. 2020年東京オリンピックを視野に入れ、都内からアクセスしやすい好条件を生かしたサイクルツーリズムプランの提案
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>①サイクルツーリズムに関する講演会・ディスカッションの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師を招き、サイクルツーリズムにおける国内外の事例について知見を得るとともに、松戸市でのツーリズムの在り方と実現に向けた課題共有のために参加者を交えたディスカッションを行う ・市民にも広く公開し、自由に参加できるものとする <p>②自転車利用上の問題点・課題抽出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松戸市内でのフィールドワークと机上調査により、自転車利用者の視点による利便施設の現状把握、課題抽出を行う ・外国人旅行者の視点も加えたチェックを行う <p>③サイクルコースの候補設定と実走による現状確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020大会会場などを目的地設定し、実際に走行することで現状を確認する ・サイクルコースに取り入れるべき施設の分布とその現況を調査する ・安全性、快適性、レクリエーション性等の観点から総合的な評価を行う ・松戸市内だけでなく周辺都市の利用環境の情報も収集し整理する

2 スケジュール

先述の事業内容①～③について下記の通りスケジュールを作成した

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所
4月	①-1. 講師選定	
5月	①-2. 講師決定、 講演会内容の打合せ、 団体内での事前学習 ②-1. 机上調査	
6月	①-3. 講演会準備 (ポスター作成等) ②-2. フィールドワーク	松戸市内
7月	②-3. フィールドワーク結果まとめ	
8月	①-4. 講演会開催	千葉大学園芸学部キャンパス
9月	①-5. 講演会議事録作成 ③-1. サイクルコースの選定	
10月	②-4. 問題点・課題の取り纏め ③-2. サイクルコースの実走1	松戸市内および 周辺市街
11月	③-3. サイクルコースの実走2	松戸市内および 周辺市街
12月	③-4. ディスカッション	
1月	③-5. 実走結果取り纏め	
2月	事業活動記録作成 活動記録概要版を市内公共施設へ配置 し市民が自由に閲覧できるようにする	市内公共施設(市 民センター・図書 館等40箇所)
3月	次年度の活動計画作成	

事業の目標

(事業に取り組む上で、どれだけのことを達成したいのか、その目標を記載して下さい。) ※事業の成果目標は、できるだけ数値などを用いて、具体的に記載して下さい。

1. 講演会の広報チラシ 300 枚印刷、市民センター・図書館等の市内公共施設 40 箇所へ配架
2. 講演会の参加予定者 40 名以上
3. 活動記録概要版を市内公共施設 40 箇所へ配架

今後の展望

(助成終了後の将来の展望を記載してください。)

1. ツーリズムのモデルプランの作成を目指し、情報収集・調査を継続する
2. 周辺地域との連携により、広域ネットワークを形成する

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 16,878	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	会費	¥ 3,500	500円*7人
	自己資金の合計額 (A)	¥ 20,378	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 120,378	

【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 25,000	外部講師謝礼
	消耗品費	¥ 77,250	プリンタ用トナーカートリッジ ブラック*1 18,360円 シアン、マゼンタ、イエロー*各1 各19,440円
		¥ 2,000	封筒、ペン、クリップ等
		¥ 1,500	事務用紙 A4 普通紙500枚入り*5冊*1箱
		¥ 0	チラシ用紙300枚、活動記録用紙160枚 (A4*7*40部) 上記に含む
	食糧費	¥ 4,500	外部講師水代、ディスカッション参加者用お茶・菓子 100円*45人分
	保険	¥ 1,400	行事保険 (実走調査) 100円*7人*2回
	通信費	¥ 328	外部講師への書類送付用 切手82円*4枚
	対象経費の合計 (D)	¥ 111,978	
その他経費	食糧費	¥ 7,000	実走調査者の昼食代 500円*7人*2回
	保険	¥ 1,400	活動保険 200円*7人
	その他経費の合計 (E)	¥ 8,400	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 120,378	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (A) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。
- 4 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。